

平成26年度 武漢市学校交流事業 派遣期間中の活動報告

平成27年3月22日(日)～29日(日)

・1日目 3月22日(日)

○移動

- ・バス：別府北浜～福岡空港(所要時間 約2時間)
- ・飛行機：福岡空港～上海空港～武漢空港(所要時間 約5時間)
- ・武漢空港に到着後、生徒はホストファミリーの自家用車で各家庭へ、引率者は学校の車でホテルへ

・2日目 3月23日(月)

○体験入学

- ・所属クラスでの歓迎式
- ・授業参加(漢詩)～到黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之を送る
- ・全校集会(国旗掲揚式)参加
- ・授業参加(美術)～「面」に着色
- ・校長等学校代表による歓迎昼食会
- ・授業参加(音楽)～弦楽合奏・中国古代楽器演奏・合唱等
- ・授業参加(体育)～グラウンドで体を動かす



武漢外国語学校に到着。広大な敷地、大きな校舎、いくつもあるグラウンド。驚きながら所属クラスに入室した。8時20分から歓迎会が行われ、王子中学校の3人の生徒が自己紹介をした。武漢外国語学校の生徒達もあたたかい雰囲気迎え入れてくれた。親切で友好的な生徒や先生のおかげで、すぐに安心して過ごせる雰囲気を作ってもらった。

最初の授業は、李白の漢詩の授業。古い中国の衣装を着させてもらったり、中国語の発音を丁寧に教えてもらったりしながら、武漢にある黄鶴楼を説明してもらった。10時から国旗掲揚式に参加した。毎週月曜日に行われているということだった。次の授業は美術。面に自由にデザインをし、色をつけるというものだった。そのあと校長先生をはじめとする武漢外国語学校の先生方と記念撮影をし、学校の中にある食堂の立派な一室で昼食をとった。午後2時から音楽の授業に参加した。まず武漢外国語学校の生徒達の演奏を聞かせてもらった。バイオリン、ビオラ、チェロの弦楽アンサンブルにはじまり、中国伝統楽器の演奏まで披露してもらった。最後に中国の有名な歌を練習させてもらい、全員で合唱した。そしてグラウンドで体育の授業で体を動かし、ホームステイ先のお迎えを受け体験入学初日が終了した。

授業が行われたすべての教室の黒板や学校の電光掲示板に、歓迎の文字と私たち4人の名前を書いてあったり、授業が始まる前には盛大な拍手で歓迎してもらったりするなどその心遣いに、感謝するばかりだった。

3日目 3月24日(火)

○校外見学

- ・ 東湖にてボート乗り、湖畔見学、昼食
- ・ 黄鶴楼見学
- ・ スーパーマーケット見学

朝、武漢外国語学校に集合して、この日は観光に連れて行っていただいた。武漢の先生と日本語を勉強している6名の代表の生徒といっしょに東湖に向かった。とても大きな湖で景色を楽しみ、スピード感あふれるボートに乗せてもらった。午後は黄鶴楼に向かった。改修中のため建物の高い部分はシートに覆われていてその全体を見ることができず残念だったが、展望台からは長江の流れを見ることができた。ここから李白が孟浩然を見送ったのだと思うと感動した。それから武昌にあるスーパーマーケットに立ち寄り、学校に帰ってから解散となった。3名の生徒たちは、車内や観光地で外国語学校の生徒たちと会話し、親交を深めることができた。とても楽しく有意義な一日だった。



4日目 3月25日(水)

○体験入学

- ・ 授業参加(数学・国語)
 - ・ 授業参加(書道)～書家による講習と実習
 - ・ ギョーザ作り
 - ・ サークル活動参加
- ・ 日本語コースの生徒と交流会



数学、国語の授業に参加したのち、書道の時間では、書家の専門の先生にいろいろな説明を受けた後、実際に生徒たちも筆を使って文字を書いた。今年の未年はとても縁起が良いとのことで「羊年大吉」という字を書いた。生徒たちの作品もとてもほめてもらった。たくさんの印鑑も見せてもらい、印鑑の持つ意味や、どこにどう押すかなども教えてもらい、



興味深く学習することができた。

午後2時から武漢の生徒といっしょにシュウマイ作りを行った。用意してもらったエプロンをつけ、専門の先生の指導の下、できあがったシューマイや餃子を料理していただいた。その後サークル活動に参加し、生徒たちはそれぞれテニスなどのスポーツに参加して楽しんだ。

午後5時から交流夕食会。そしてしばらくの休憩をはさんだ後、6時30分からはクラスで交流会が行われた。中国の遊びを披露してもらった後、日本の生徒たちはけん玉を披露した。中国の生徒たちにとっても興味を持ってもらい次々と挑戦していた。中国に生徒たちにも楽しんでもらえた。いす取りゲームなどで大いに盛り上がり、あやとりやトランプなどで親睦を深め合った。

8時20分まで交流会は続き、ホームステイ先のお迎えを受けた。朝から夜遅くまで内容たっぷりの1日だった。



5日目 3月26日(木)

○校外見学

- ・湖北省博物館見学
- ・漢街見学
- ・帰元寺見学

この日は同じクラスの生徒たちといっしょにまずは湖北省博物館へ。湖北省博物館は武漢市の東湖のほとりにあり、すばらしい建物だった。収蔵文物は14万点にのぼるようで、国家級文物も数多く、古代音楽文物、古代青銅器、戦国、秦、漢の時代漆器及び竹簡が並べられてた。「古代楽器演奏ホール」では編鐘などの生演奏を聴くことができ、とても感動した。生徒たちも演奏のDVDや記念品を買った。昼食は漢街へ。有名ブランド店なども数多く立ち並ぶ巨大なショッピングウォルマートを見学し、そのあと帰元寺を訪れ、学校に帰ってから解散した。この日も3名の生徒たちは、武漢外国語学校の生徒たちといっしょに行動し親睦を深めた。



6日目 3月27日(金)

○体験入学

- ・ 漢服の試着～伝統的な服装と礼儀作法
- ・ 授業参加(体育)～太極拳
- ・ 授業参加(日本語)～日本語コースの生徒との交流会
- ・ 学校での送別会
- ・ 各ホームステイ先にクラスの生徒を交えてギョーザパーティー(2軒訪問)



この日は、中国の古い伝統的な服装「漢服」を着せてもらった。専門の先生が来校し、着付けから指導してくれた。武漢外国語学校の校長先生や日本語学科の先生方もいっしょに漢服を着て、記念撮影をした。中国の古来の礼儀作法を教わったり、伝統的な遊びをいっしょに楽しんだりした。それから太極拳の授業を、クラスの生徒たちといっしょに教わった。



そのあと日本語コースの3年生のクラスで交流授業が行われた。武漢外国語学校で指導されている日本人の先生の授業だった。また、昨年王子中学校に交流で来ていた楊さん、李さん、劉さんがいるクラスでもあったので、日本のことわざのカルタや伝言ゲームなどでおおいに盛り上がった。

昼食会の後、午後は学校内にあるホールで送別会が行われた。校長先生から送別の言葉を受けた後、一人一人がスピーチをした。生徒たちはそれぞれに一週間の感想と感謝を話し、優しく迎え入れてくれたことや有意義な体験をさせていただいたことへの感謝の気持ちを伝えた。武漢の生徒からも感想のスピーチや歌のプレゼントなどをしてもらった。最後に王子中学校に来ていた3人の生徒とまた涙のお別れをすることになった。

夕方近くからは、それぞれのホームステイ先でギョーザパーティーが開かれた。クラスの生徒たちも分かれて参加し、いっしょにギョーザ作りから始め、夜まで別れをお



しんだ。

7日目 3月28日(土)

○各ホストファミリーとともに終日行動

武漢最終日は、ホームステイ先の家族と自由行動。それぞれにお世話になり、夜ホテルに集合した。生徒たちはそれぞれ楽しい一日を過ごし、ホテルで名残をおしみながら最終日を終えた。

8日目 3月29日(日)

○移動

- ・飛行機：武漢空港～上海空港～福岡空港(所要時間 約4時間)
- ・バス：福岡空港～別府北浜(所要時間 約2時間)

